

船舶事故等調査報告書

平成27年4月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故等番号 | 2015仙第6号 |
| 事故等種類 | 定置網損傷 |
| 発生日時 | 平成26年12月17日 00時45分ごろ |
| 発生場所 | 宮城県石巻市田代島北北西方沖 二鬼城崎灯台から真方位328° 1.5海里付近 (概位 北緯38° 19.99′ 東経141° 24.04′) |
| 事故等調査の経過 | 平成27年1月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 ^{おたがわ} 太田川、499トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 141218、アキ・マリン株式会社 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級海技士（航海） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 本船 なし 定置網 ロープが破損 |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、田代島北北西方沖において、荒天を避けるため、左舷錨鎖を6節（約150m）伸出させて単錨泊中、平成26年12月17日00時00分ごろ、西北西風を受けて走錨し、機関をスタンバイとして揚錨したところ、00時45分ごろ、左舷錨鎖に定置網のロープが絡まった。 船長は、定置網のロープが流されて絡んだものと思い、両舷錨を投じて再び錨泊し、風が収まってから周囲を見たところ、ボンデンが多数あったことから、本船が定置網に進入していることが分かった。 本船は、19日10時00分ごろ、タグボートに引き出され、絡まったロープを切断した。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 7、視界 良好 海象：潮汐 高潮期 石巻市には、本事故当時、風雪、波浪及び濃霧注意報が発表されていた。 |
| その他の事項 | 本船が錨泊した場所は、水深が約20～30mで、底質が泥であった。 船長は、錨鎖を6節伸出させていれば、走錨したことがなかったので、走錨することはないと思っていた。 船長は、自室に備えられたGPSプロッターのモニターを見て走錨に気付き、昇橋したが、船橋に守錨当直を配置していなかった。 |

| | |
|---|--|
| <p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p> | <p>あり なし あり</p> <p>本船は、田代島北北西方沖で単錨泊中、風力7の西北西風を受けて走錨したことから、定置網に進入し、左舷錨鎖に定置網のロープが絡まり、同ロープを損傷したものと考えられる。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本事故は、夜間、本船が、田代島北北西方沖で単錨泊中、風力7の西北西風を受けて走錨したため、定置網に進入したことにより発生したものと考えられる。</p> |
| <p>参考</p> | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 錨泊中は、守錨当直を行うこと。 ・ 錨泊場所及び気象状況に応じた錨泊法、錨鎖伸出量とすること。 |